

\*セミナリオはキリスト教の聖職者を育てるための学校。

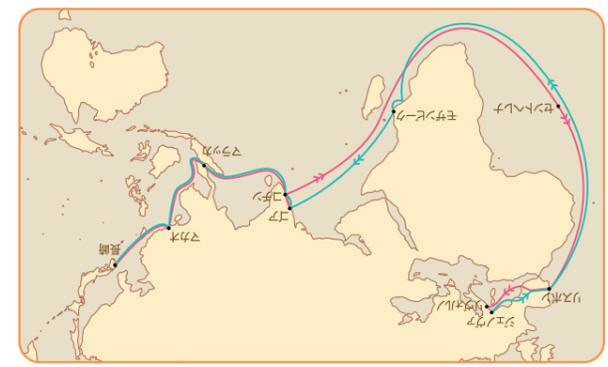
16世紀末~17世紀初頭 シュロリアン大学 (ローマ/伊外にセミナリオを設立するシュロリアン13世) ローマの画家(?)



動きと日付の誤差が少なかつたよ。

た。パチンコが開かれたり、高価な贈り物をもたらしたり、お城に泊まったり...。身分の高い人たちに会ったよ。なかでもキリスト教で一番身分の高い教皇シュロリアン13世は、病にかかっていた少年の中浦シュロリアンにあたいたかい助ましを送り、彼のために6人も名医を集めたそう。国の代表という立場で病になつてしまったシュロリアンへの気持ちを教皇は一番よく理解していたんだね。この時の恩をシュロリアンは一生涯忘れなかつたよ。今世界中で使われている「シュロリアン」はシュロリアン13世が採用し、そのお陰で実際の太陽の動きと日付の誤差が少なかつたよ。

### 想像を絶するおもしろ



旅。今は飛行機で約12~13時間で行けるよ。

彼らは「天正遣欧少年使節」と呼ばれているよ。「天正」は当時の日本の年号(元号)。遣欧の遣は「遣わす」の意味で人がどこかに送られること。そして「欧」は欧州、つまりヨーロッパ。 「使節」は国家や政府の代表として外国に派遣される人のこと。つまり、少年たちは日本の代表として未知の世界に繰り出したんだ。すこいよね!

### 長〜〜い船旅

### 裏面の地図を広げてみよう!

(天正遣欧少年使節からエネツア共和国政府への感謝状) 1585年7月2日 ヲチカツノ教皇庁図書館 By Biblioteca Apostolica Vaticana



数々のおもてなしを受けた4人の少年は、あふれんばかりの感謝の気持ちを手紙に書いて送っているよ。エネツア共和国政府への感謝状は日本語にイタリア語訳がかついているよ。さすが日本の代表!優秀なだけでなく、感謝の気持ちを忘れない素晴らしい少年たちだったんだね。

### 感謝のお手紙

(1601-1604年 フランシスコ・コロンブス Antonio Quattrone, Firenze) (リウヴィル/港の景観) 大公工画、コロンブス・コロンブス(リウヴィル/港)の作品に書く



到着したイタリアの港の様子だよ!手前には灯台が、海沿いには町が、遠くには山が見えるね!色々な種類の旗もあるね。この作品は少年たちが到着した少し後に作られたよ。貴石といて美しく、とてもすばらしい宝石とできていたんだ。とくに金色がまじった群青色の波はラズリアンといつて、とても高価な石なんだ。ピアちゃんの写真にも使われているよ!

### イタリア上陸!

執筆・編集 = 平谷美香子 (東京富士美術館) 発行 = 東京富士美術館

★一番心に残った作品をスケッチしたり、言葉であらわしてみよう!  
題名  
作られた年

### 旅の思い出

### 旅のリーダー、マンショくん

今日の旅の主演は日本人で初めてヨーロッパに行つて帰ってきた4人の少年たち。出発した時はみんな13~14才。そのリーダーがマンショくん。すごいひだ襟だね!これは当時のヨーロッパの身分の高い人が身につけていた服だよ。さあ、4人の少年が見たイタリアを一緒に旅しよう!プレーゴ! (イタリア語でレッツゴー!の意味)



(伊東マンショの肖像) トメニコ・ティントレット 1585年 トリヴルツィオ財団

★マンショくんと同じような襟の服を着ている人の作品を見つけたら下の【 】に作品番号をメモしよう!

### JUNIOR GUIDE

### ジュニアガイド



# 遥かなるルネサンス

Sol Levante nel Rinascimento Italiano  
天正遣欧少年使節がたどったルート

### 案内人、ピアちゃん

私は470年以上前のイタリアから来たメディチ家のプリンセス。名前はピアよ!大好きなパパの横顔のペンダントをして、400年以上前のイタリアをみんなに案内するため、初めて海を渡って日本に来たの。



(ピア・メディチの肖像) フロンスィーノ (アーニョロ・ティ・コジモ・トリー) 1542年頃 ウフィツィ美術館 Antonio Quattrone, Firenze

★ピアちゃんのパパ《コジモ1世の肖像》を探そう!

# これが、天正遣欧少年使節がたどった、イタリアだ!!

地図上の■の場所は常設展示室7 [写真コレクション特集] 「19世紀のイタリアの建物・風景展」に関連作品を展示中。  
 ※前期 (9/21-11/5) と後期 (11/7-12/24) で展示替えあり。

私の  
出身地は  
ここよ!



(ピア・デ・メディチの肖像)  
 フロレンス(アーネスト・ディ・コジモ・トリー)  
 1542年頃  
 ウフィツィ美術館  
 Antonio Quattrone, Firenze

Gondolaに乗って  
 ムラーノ島へGO!



(ゴンドラ) 19世紀末

世界的に有名なヴェネツィアン・グラスは  
このムラーノ島のガラス工房で作られているよ。



(ムラーノの建物) 1910年頃

関連

作品番号52《巡礼者のフィアスコ》と  
 作品番号53《バケット》を見てね!



(サン・マルコ広場) 19世紀後半



ヴェネツィア共和国の統領、  
ニコロ・ダ・ポンテと  
面会した場所。

(ドゥカーレ宮殿)  
 1855年頃



(アジネッリとガリゼンダの斜塔)  
 19世紀後半

8月8日、出航!  
 約5ヶ月間旅をした  
 イタリアともお別れ...



(ピサの斜塔) 1860年頃

1585年3月1日、  
 リヴォルノ  
 イタリア到着!

出発から約3年間の船旅...



(ヴェッキオ宮殿)  
 19世紀末

レオナルド・ダ・ヴィンチが  
 壁画「アンギアーリの戦い」を  
 描いた宮殿だよ。

関連

常設展示室8 特別展示 タヴォラ・ドーリア (複製展示)



(タヴォラ・ドーリア) (アンギアーリの戦い) の軍旗争奪場面  
 作者不詳 (レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)  
 16世紀前半 ウフィツィ美術館所蔵 (2012年東京富士美術館より寄贈)  
 Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi



(ヴァチカン宮殿の内部)  
 19世紀後半

少年たちが  
 教皇グレゴリウス13世と  
 面会した場所。

関連

常設展示室2 《ローマ、キリナーレ宮殿の広場》



(ローマ、キリナーレ宮殿の広場)  
 カナレット (ジョヴァンニ・アントニオ・カナル)  
 1750/51年頃

グレゴリウス13世が建てた夏の住居。  
 現在はイタリア共和国大統領官邸として  
 使われているよ。



(サン・ピエトロ大聖堂)  
 1860年頃

世界最大級の教会建築。  
 この大聖堂やヴァチカン宮殿などがある  
 世界最小国家のヴァチカン市国は、  
 国全体がユネスコの世界遺産に登録されているよ。

マンショくんら、天正遣欧少年使節とたどったイタリアの旅。どうだったかしら? 少年たちが日本に帰国したのは1590年7月21日。イタリアの旅を終えてから約5年間、スペイン、ポルトガル、アフリカ大陸のモザンビーク、インドのゴア、中国のマカオを経由して船旅を続けたのでした。日本を出発してから8年半の長旅で、13~14才だった少年は21~22才の立派な青年に成長。翌年には豊臣秀吉にも報告に行っているよ。

さて、展覧会ではイタリアや各地で400年以上もの間、大切に大切に保管されてきたものばかり。このガイドを片手に400年以上前の日本やイタリアを想像しながら、ゆっくりじっくり鑑賞してみてね!